

週刊読書人

毎週金曜日発行
定価 363円
本体 330円株式会社 読書人 発行
東京都千代田区神田神保町
1-3-5
郵便番号101-0051
電話 03(5244)5975(代)
FAX 03(5244)5976
振替口座 00150-9-57070
前金購読料50週16000円
<https://dokushojin.com>
© 株式会社読書人2022もうと本が
読みたくなる。書
カード
NEXT

お祝い、お礼・お返しに

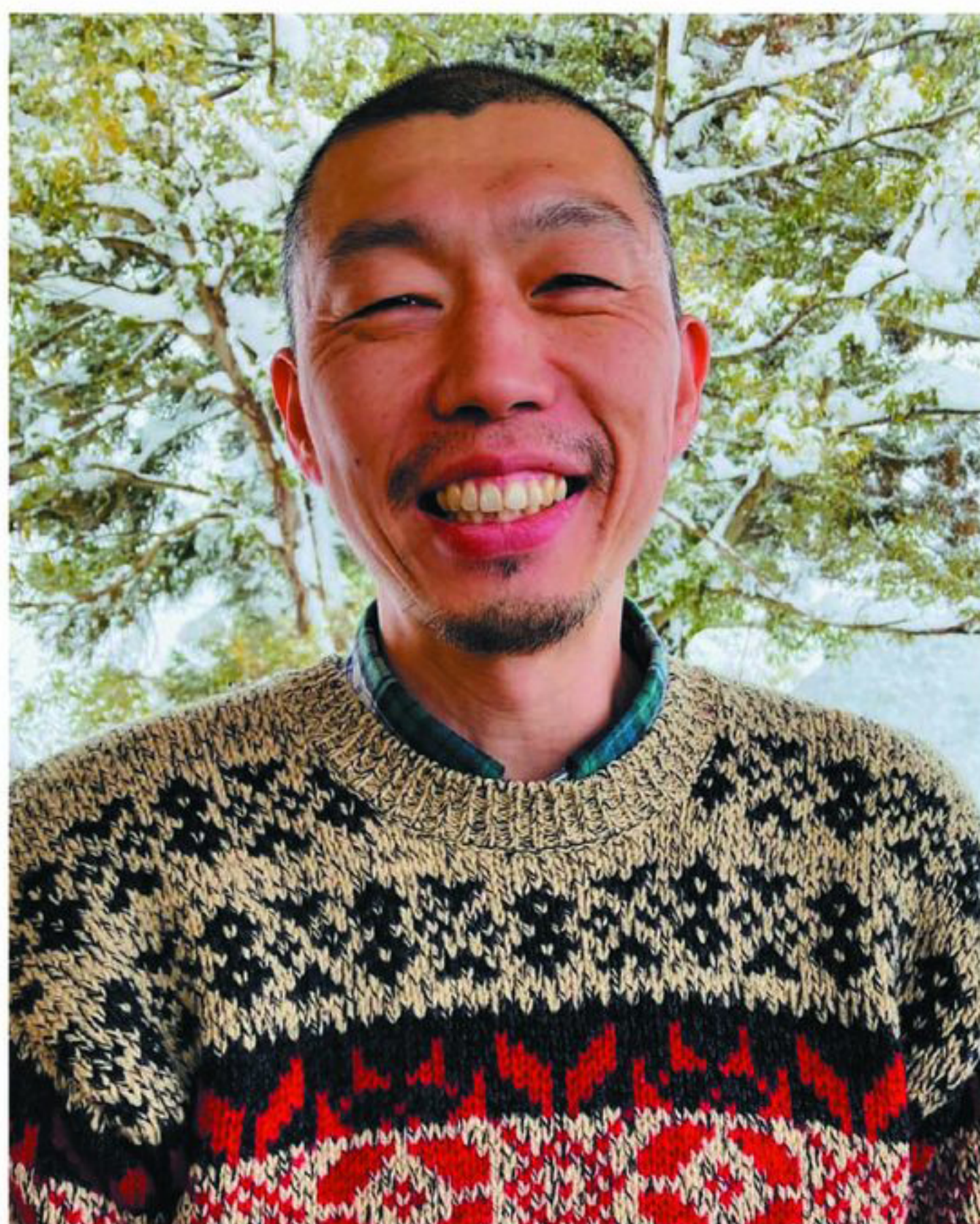
www.toshocard.com

日本図書普及株式会社 03(3267)2311(代)

対談Ⅱ野澤豊一×川瀬慈

終わりのなきミュージッキングへ

『音楽の未明からの思考』（アルテスパブリッシング）刊行を機に



野澤 豊一氏



川瀬 慈氏

「音楽」を現象へ引き
戻し、捉え直す

『音楽の未明からの思考 ミュージッキングを超えて』（アルテスパブリッシング）が刊行となった。「ミュージッキング」という概念を軸に、ジャンルや作品といったモノではなく、出来事として音楽的行為を捉え、既存の音楽学とは異なる論集を提示し、ひいては私たちの社会の音楽を豊穡な場所へと解き放てないか、という精力的な取り組みである。本書刊行を機に、編著者で文化人類学者の野澤豊一氏、川瀬慈氏に対談をお願いした。（編集部）

野澤 今日のご自宅からですか？ 後ろの絵が川瀬 父が二〇代のと

苦しさを感じて、アフリカの農村まで逃げてみたけれど、そこにも全く同じような共同体や、人とのつながりからくる息苦しさがありました。もうこれはどこまで行っても逃げられないや、と観念しました（笑）。

野澤 三十名近くいたんじゃないかな。常々音楽を学術的に語るものにはつまらないものが多いと感じていたんです。比べてパフォーマンス自体はなんとも生き生きして、心を騒がすような面白さも危うさも含んでいるでしょう。そういう部分を切り捨てて分析しやすいかたちにするのが、オーソドックスな音楽学

野澤 確かに、実践から体感したミュージッキングを論じていますね。

パフォーマンスの
ナミズムを語るため

川瀬 たとえば松平勇二さんは、ジンバブエのシヨナ社会における「音楽的霊性」について書いていますが、彼自身ンビラ奏者としてアフリカと日本で活動してきた人で、彼の調査地では才能Ⅱマシャウィは霊的存在と位置づけられ、感謝の儀礼を怠ると「才能は所有者から逃げる」と言われている。儀礼で共同体の人々と、食べ飲み、音楽や霊媒師との対話を楽しむことで、妬みや嫉みを解消する意味もある。霊的な世界と人間の世界が音楽や才能というものを通じ、相互に貫入しあうという話です。

野澤 精霊が憑依する儀礼についてはアフリカ研究や人類学では聞く話か。「ともにグルー

△島園進著『戦後』

今週の

◇連載Ⅱ中平卓馬

◇連載Ⅱ日常の向

◇連載Ⅱ「映画作

◇著者から読者へ

▽映画時評・2月

今週の